

キーワード

思考力・判断力・表現力の育成

標 題

- 1 班やグループやペア学習を行考えを表現させる取り組み。
- 2 ホワイトボードやレポートを使い思考したことを判断しまとめる工夫。
- 3 記録者・発表者・ホワイトボードにまとめる役割分担。
- 4 図や言葉やグラフなどを利用した発表での表現の工夫。
- 5 学び合い・教え合いをして基礎学力の定着を図る。

①学校の概要（平成25年7月19日現在）

・児童生徒数 114名 ・学級数 5学級 ・教職員数 17名

②取組を始めた経緯

学校教育重点目標と研究課題での「表現力を高め基礎学力の充実を図る」の達成。

③取組の実施体制

- ・班・小グループ・ペア学習の導入。
- ・ホワイトボードの活用と活用法の研究。
- ・授業中での討論活動の多用化。
- ・教科外での情報掲示活動の充実。
- ・ICT機器の活用と有効性の研究。
- ・各教科との横断的な連携。

④学力向上に向けた具体的な取組

- グループや班を活用し、話し合いや学び合いをすることで、理解を伸長させる。
- ホワイトボードの掲示の仕方を工夫し、系統的に考えたことがわかるようにする。
- 生徒の活動場面を多くし、積極的に授業に参加させる。
- 「なぜ・どうしてか」、理由を考えさせるような発問をしていく。
- テスト後のレポートなどでの間違いの分析や学習についての取組を分析する。
- チャレンジテスト（1学期国語、2学期英語、3学期数学）で基礎基本の定着を図る。
- 国（読書）・英・数3教科の朝学習を実施する。
- ICT機器やホワイトボードの活用による学習を行う。
- 授業規律の徹底する。（小学校との連携）
- 「本時の目標」の提示と「振り返りシート」を活用する。
- 学習態度や意欲、提出物を重視する。

⑤取組の成果と課題

○成果

- ・活発に発言したり、学習に対して積極性がでてきた。集中して学習に取り組んでいる。
- ・班やグループ学習でまとめたり発言する生徒が増えてきた。
- ・基礎学力が徐々に上がってきている。(全国学力調査でも良い結果が出てきている。)

○課題

- ・班やグループ活動を活発にするための仲間作りの充実。
- ・授業後やテスト後や活動後等の振り返りの研究。
- ・学習内容の定着を確実にするための指導法や教材の開発。

⑥取組の継続・発展の要因

- ・教職員研修で共通理解
- ・積極的な授業公開(相互研修)
- ・小中連携の深化

⑦管理職・中核教員等のアクション

- 積極的に授業視察と指導アドバイスを行う。
- 先進的な取組を広く研修・伝達する。
- 具体的な数値目標設定によるPDCAサイクルを構築する。
- ソフト及びハード面を充実させる。(教育機器, 教材など)

⑧資料・写真等

